

平成30年3月期 第3四半期 決算説明会

平成30年2月7日
株式会社 **DTS**

1. 株式会社DTSインサイトの設立

平成29年4月1日、DTSグループ組込み事業の拡大に向けて、横河デジタルコンピュータ株式会社、アートシステム株式会社、及びDTS組込み関連事業を統合し、株式会社DTSインサイトを設立した。

2. データリンクス株式会社の完全子会社化

平成29年8月1日、グループ経営の更なる強化のため、当社の自己株式を対価とした株式交換を実施し、データリンクス株式会社を完全子会社とした。

3. DTSタイ(DTS IT Solutions (Thailand) Co., Ltd.)の営業終了

海外事業の選択と集中を図り、平成29年10月末でDTSタイの営業を終了した。今後は、アメリカ、ベトナム、中国、インドにおける事業強化に注力する。

4. 株式会社DTS 本社移転

平成29年10月2日、本社を東京都港区から中央区に移転した。
サテライトオフィスの導入など働き方改革への取り組みを推進している。

5. 株式会社DTS 創立45周年記念配当の実施、記念式典の開催

中間配当は創立45周年記念配当5円を加え、1株当たり35円とした。
また、平成29年11月に記念式典を開催し、3千名超のグループ社員が参加した。
45周年を契機にこれまでの「DTS WAY」を改定、「DTSグループWAY」を定めた。

第3四半期 連結業績

売上高は、プロダクトビジネスの増加や卸売・小売の案件拡大などにより前年同期比+28.3億円。本社移転や45周年記念式典による一時費用の支出に加え、第1四半期に発生した不採算案件影響があったが、売上高・営業利益ともに過去最高を更新。

(単位：億円)	実績	売上比(前年同期比)	前年同期比		業績予想に対する進捗率
			増減	比率	
売上高	605.7	—	+28.3	104.9%	73.4%
売上総利益	117.7	19.4% (Δ0.3pt)	+3.6	103.2%	72.7%
販管費	59.7	9.9% (Δ0.2pt)	+1.3	102.3%	73.8%
営業利益	57.9	9.6% (Δ0.1pt)	+2.2	104.1%	71.5%
経常利益	58.3	9.6% (Δ0.3pt)	+1.2	102.2%	71.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	38.6	6.4% (+0.0pt)	+1.9	105.3%	73.6%

第3四半期 セグメント別 売上高

- ・金融公共セグメントは、メガバンクや生損保向け案件が拡大したが、統合案件の減少影響により、減収。
- ・法人通信・ソリューションセグメントは、情報通信、卸売・小売、製造など幅広い業種で、新規顧客の獲得や既存案件の拡大が進み、増収。
- ・運用BPOセグメントは前期並みを確保。
- ・地域・海外等セグメントでは、プロダクトビジネスなどが好調で増収。

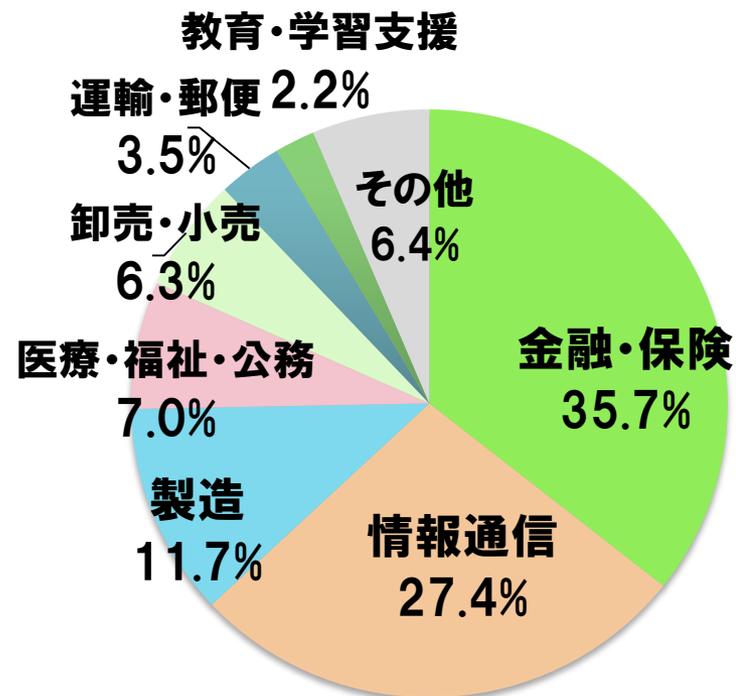
(単位：億円)	実績 (※)	構成比 (前年同期比)		前年同期比		業績予想に 対する進捗率
				増減	達成率	
売上高	605.7	—		+28.3	104.9%	73.4%
金融公共	199.3	32.9%	(Δ4.6pt)	Δ17.3	92.0%	68.7%
法人通信 ソリューション	168.2	27.8%	(+3.5pt)	+28.2	120.2%	76.6%
運用BPO	90.9	15.0%	(Δ0.6pt)	+0.5	100.6%	72.8%
地域・海外等	147.2	24.3%	(+1.7pt)	+16.8	112.9%	77.1%

第3四半期 エンドユーザー別 連結売上高

- ・金融・保険は、主に生損保などが増加したが統合案件の縮小などで減少。
- ・情報通信は、プロダクトビジネスや通信業向け案件の拡大などにより増収。
- ・医療・福祉・公務は、官公庁や共済組合などの拡大で増収。
- ・卸売・小売は、主に商社向けのソリューション案件が拡大し、増収。

経済産業省による業種分類別売上高

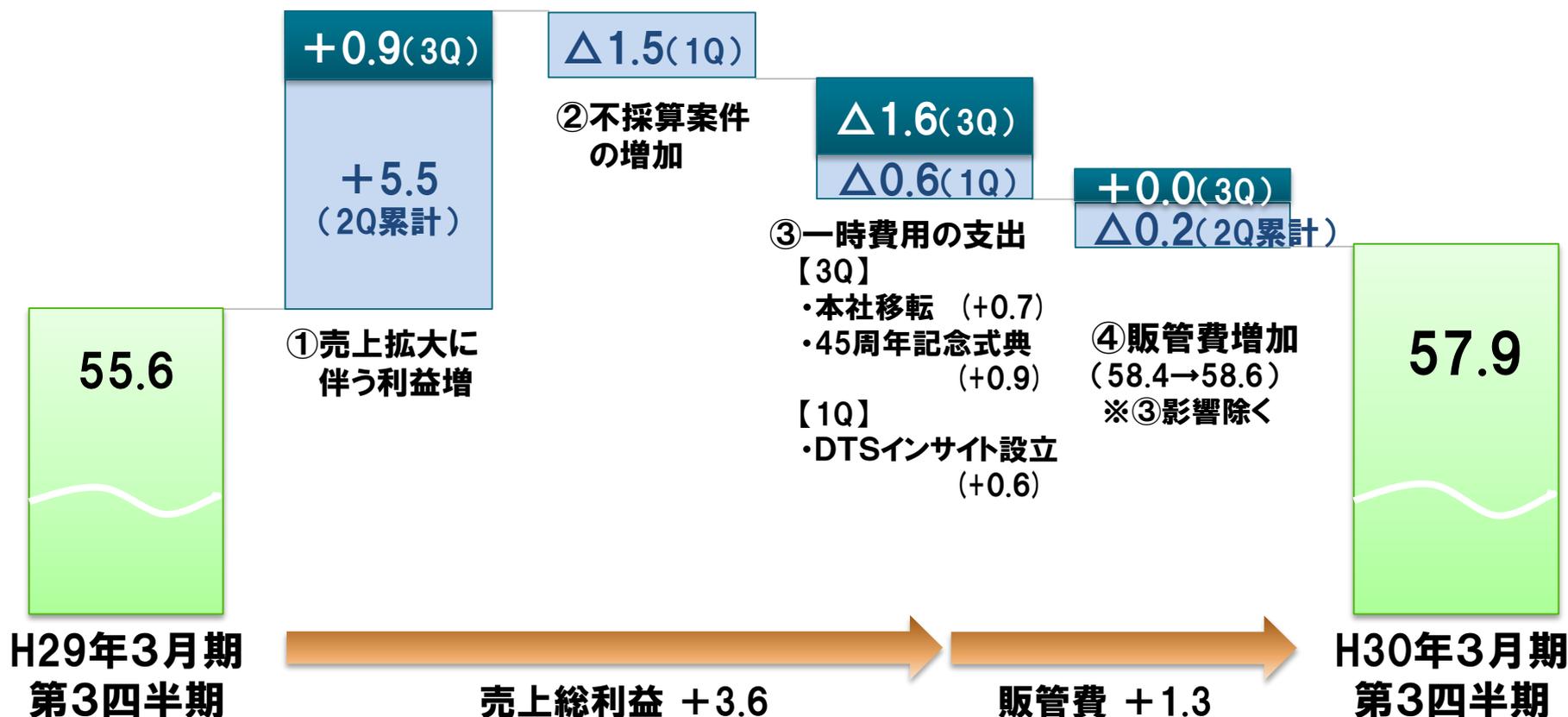
(単位:億円)	金額	構成比	前年同期比	
金融・保険	215.9	35.7%	△17.6	92.4%
情報通信	165.6	27.4%	+15.8	110.6%
製造	70.8	11.7%	+6.6	110.4%
医療・福祉・公務	42.5	7.0%	+9.5	128.9%
卸売・小売	37.8	6.3%	+7.5	124.8%
運輸・郵便	21.1	3.5%	+4.6	128.2%
教育・学習支援	13.1	2.2%	△3.9	77.0%
その他	38.5	6.4%	+5.7	117.4%
合計	605.7	100.0%	+28.3	104.9%



第3四半期 連結営業利益の増減要因

本社移転や45周年記念式典による一時費用の支出や、第1四半期に発生した不採算案件影響はあるが、売上拡大による売上総利益の増加でカバーし、前年同期比+2.2億円。

(単位：億円)



第3四半期 セグメント別受注

【受注残高の状況】

- ・金融公共セグメントは、生損保案件の拡大などにより増加。
- ・法人通信・ソリューションセグメントは、運輸業、卸売・小売、情報通信などで既存案件の拡大や新規顧客獲得により増加。
- ・運用BPOセグメント、地域・海外等セグメントでは、前年同期並みを確保。

単位(億円、%)	受注高(※1)				受注残高(※1)			
	実績(※2)	構成比	前年同期比		実績(※2)	構成比	前年同期比	
連結	441.5 <455.4>	—	+4.7 <+18.7>	101.1% <104.3%>	176.0 <189.9>	—	+12.7 <+26.6>	107.8% <116.3%>
金融公共	120.1	27.2%	△31.4	79.3%	62.5	35.5%	+1.2	102.1%
法人通信 ソリューション	156.2	35.4%	+25.2	119.3%	55.7	31.6%	+11.6	126.4%
運用BPO	22.5	5.1%	△4.2	84.3%	29.5	16.8%	+0.5	101.7%
地域・海外等	142.6 <156.6>	32.3%	+15.1 <+29.0>	111.9% <122.8%>	28.2 <42.2>	16.1%	△0.6 <+13.2>	97.7% <145.9%>

※1:平成30年3月期において、一部グループ会社の受注管理強化による受注計上時期の前倒し影響(+13.9億円)があり、それを除いた値で表示。<>内は、上記影響も加味した値(決算短信記載値)

※2:実績はグループ外への受注高、受注残高

第3四半期 個別業績

- ・売上高は、メガバンク、運輸、製造など幅広い業種で新規案件獲得、既存案件の拡大が進み、過去最高を達成。
- ・営業利益は、本社移転や45周年記念式典による一時費用を計上したが、増収効果で増益。

(単位：億円)	実績	売上比(前年同期比※)		前年同期比※		業績予想に対する進捗率
売上高	416.4	—		+10.3 <+7.2>	102.5% <101.8%>	72.4%
売上総利益	83.0	19.9%	(+0.0pt)	+2.3 <+1.5>	102.9% <101.9%>	75.2%
販管費	33.3	8.0%	(+0.3pt)	+2.0	106.5%	74.0%
営業利益	49.7	11.9%	(△0.3pt)	+0.2 <△0.5>	100.6% <99.0%>	75.9%
経常利益	52.8	12.6%	(△0.1pt)	+1.0 <+0.2>	102.0% <100.4%>	78.3%
当期純利益	36.6	8.8%	(△0.2pt)	+0.2 <△0.3>	100.6% <99.1%>	78.8%

※前年同期比はDTSインサイトへの事業移管影響を除いた値との比較、<>内は事業移管影響を含む

平成30年3月期 第3四半期 決算説明会

ご清聴ありがとうございました

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の売上高および利益などの予想数値は、業界の動向を含む経済情勢、お客様の動向など、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としておりますが、これらは、種々の不確実な要因の影響を受けます。したがって、実際の売上高および利益などは、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。